

令和3年度指定管理者評価調書

施設所管課	教育委員会事務局歴史遺産課	評価者職氏名	課長 鈴木 常義	評価日	令和4年6月17日
-------	---------------	--------	----------	-----	-----------

施設名称	奥州市埋蔵文化財調査センター	施設所在地	水沢 地域
指定管理者名	一般財団法人奥州市文化振興財団	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	埋蔵文化財を調査研究し、その資料の保管及び公開を行うことにより、市民の教育、学術及び文化の向上に寄与することを目的とする。	指定管理料の有無	有
施設概要	研修室、展示室、研究室、収蔵庫、資料保管室、整理室等	指定管理料の区分	指定管理料+利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	R3利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	奥州市埋蔵文化財調査センター観覧者等	9,138	4,915	1,834	1,758	95.9	
(計)	9,138	4,915	1,834	1,758	95.9		
[利用者の増減理由] 新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館の期間が、令和2年度の24日間に対し、3年度は通算67日間（8月13日～9月17日、及び1月29日～2月28日）と長期間であったことが影響し前年度比で利用者減となった。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R3年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R3年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料	35,221,000		35,221,000	歳入	使用料		使用料		
	利用料金	289,200		289,200		賃貸料		賃貸料		
	自主事業		288,110	288,110		その他		その他		
	雑収入	4,570	112,624	117,194		計(A)	0	計(A)	0	
	計	35,514,770	400,734	35,915,504						
支出	人件費	23,605,210		23,605,210	歳出 ※経常的	指定管理料	35,221,000	人件費	8,689,602	
	需用費	3,217,946	309,980	3,527,926		委託料		委託料	10,389,000	
	役務費	228,080	25,553	253,633		需用費		需用費	25,070,466	
	委託料	4,853,580		4,853,580		その他		その他		
	使用料・賃借料	1,121,357	13,860	1,135,217		計(B)	35,221,000	計(B)	44,149,068	
	租税公課	2,392,744	1,170	2,393,914		支出(B-A)	35,221,000	支出(B-A)	44,149,068	
	その他諸費	34,320	47,623	81,943		歳出 ※臨時的	維持修繕費	3,110,800	維持修繕費	1,791,300
							委託料	1,870,000	備品購入費	
							工事請負費	29,645,000		
	計	35,453,237	398,186	35,851,423		計(C)	34,625,800	計(C)	1,791,300	
損益	61,533	2,548	64,081	支出(B+C-A)	69,846,800	支出(B+C-A)	45,940,368			

職員配置	常勤職員	6 人	市の正職員	1 人
	非常勤職員	2 人	市の臨時・非常勤職員	人

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	296,100	6,900	289,200

指定管理者人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出	66.6 %	R3年度 指定管理者損益	64,081 円	評価
-----------	------------------------	--------	-----------------	----------	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料 /利用者数	20,034.7 円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3
----------------	----------------	------------	------------------	----	---

行革効果	[指定管理による行革効果]	[行革効果額]	8,928,068 円			評価
	損益額が昨年度(12,246円)よりプラスになっているが、施設管理分及び自主事業分のいずれも収支がほぼ同額で、収入がわずかに上回る程度である。コロナの影響はあるものの、さらに収入を伸ばしていくような取り組みが必要である。	[行革効果額の積算根拠]				
			R3	R2	比較	
		直営支出額	44,149,068	44,149,068		0
		市支出額	35,221,000	35,221,000		0
	効果額	8,928,068	8,928,068		0	

### 3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理施設等の使用許可に関する業務</li> <li>管理施設等の維持管理に関する業務</li> <li>来場者への案内説明</li> </ul>	○		4
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>鎮守府探訪講座2020（5回シリーズのうち3回実施）</li> <li>体験学習会（5回）</li> <li>企画展「仙北街道クロニクル」</li> <li>出前講座（随時13回）</li> <li>体験学習受入（随時1回）</li> <li>中堅教諭等資質向上研修社会体験研修（4名）</li> <li>博物館実習（1名）</li> </ul>	○		

### 4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	必要な修繕を行い、適切に維持管理が図られていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	専門業者への委託により適切に行われていた。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	賠償保険に加入していることを確認した。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適切に行われていることを確認した。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	必要な事務処理が行われ、適正に公平性が図られていた。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	パンフレット、ホームページ、所報の定期発行等による広報活動の実施を確認した。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	利用者の要望を十分に汲み取り、円滑な運営がなされていることを確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	可能な限り改善していることを確認した。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	積極的に自主事業を行っていた。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報の保護に関する規程に基づき、適切に実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	事業報告書により点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	事業報告書により実施を確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	地震・火災等緊急時対応マニュアルに当該対応における内容の記載を確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	地震・火災等緊急時対応マニュアルを確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	事業報告書により訓練の実施を確認した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	4
		調査内容	・事業内容の感想調査 ・展示内容、職員の対応についての満足度調査 (年間を通じてアンケート用紙を設置し、任意で記入してもらった)	
		調査結果	・次年度事業への取り組みに反映させている。 ・利用者からの感想を的確に捉え、サービス向上につなげている。	
	要望・苦情等	良好とする評価 ・施設が安全・快適に管理されている。 ・利用者にわかりやすい展示解説やニーズに沿った展示が行われている。		
		苦情・改善要望等	多方面にわたった研究成果を紹介、展示してほしい。	

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	2	<b>3</b>
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	4	
	3 事業の実施状況	4	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	4	
	評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者として、善良且つ適切な施設管理を行うとともに、親切丁寧な対応が来場者から好評を頂いている。</li> <li>・自主事業を積極的に行い、市の歴史文化に対する知識の習得と情報発信に寄与している。</li> <li>・胆沢城跡を起点とした、地域の中心施設として住民の期待に応えるよう事業に取り組んでいる。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策の影響により、前年度から来場者数の減少傾向が続いており、来場者の求める展示やイベントを実施する等、誘客と施設の更なる知名度アップに向けた改善策が求められる。</li> </ul>	

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	収蔵資料を有効活用し、更なる誘客に努める。	収蔵資料を利用した企画展を開催し、誘客につなげた。	利用者のニーズ(アテルイ・エミシ)に沿った展示を企画し、誘客に努める。

令和3年度指定管理者評価調書

施設所管課	教育委員会事務局歴史遺産課	評価者職氏名	課長 鈴木 常義	評価日	令和4年6月17日
-------	---------------	--------	----------	-----	-----------

施設名称	胆沢城跡歴史公園	施設所在地	水沢地域
指定管理者名	一般財団法人奥州市文化振興財団	公募・非公募の別	非公募
指定期間	令和2年4月1日～令和5年3月31日(3年間)	新規・継続の別	継続
施設設置目的	奥州市の歴史遺産としての遺跡等を保存し、市民の文化活動の場 に供することを目的とする。	指定管理料の有無	有
施設概要	築地(再現)、外郭南門跡や柱跡を設置。AR・VRによる復元映像。	指定管理料の区分	指定管理料のみ

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	R3利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	タブレット利用人数			457	153	66	
ヘッドマウントディスプレイ利用人数			318	176	86	48.9	
現地案内状況			727	234	124	53.0	
(計)		0	1,502	563	276	49.0	
[利用者の増減理由] 新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館の期間が、令和2年度の24日間に対し、3年度は通算67日間 (8月13日～9月17日、及び1月29日～2月28日)と長期間であったことが影響し前年度比で利用者が半減と なった。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位:円)	R3年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R3年度決算額		市直営決算(R1年度)			
収入	指定管理料	6,913,000		6,913,000	歳入	使用料		使用料		
	利用料金			0		賃貸料		賃貸料		
	自主事業			0		その他		その他		
	雑収入			0						
	計	6,913,000	0	6,913,000		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費	5,858,689		5,858,689	※経常的 歳出	指定管理料	6,913,000	人件費	
		需用費	174,177		174,177		委託料	1,760,000	委託料	12,014,821
		役務費			0		需用費	23,651	需用費	20,402
		委託料			0		その他	293,040	その他	218,448
		使用料・賃借料	169,590		169,590		計(B)	8,989,691	計(B)	12,253,671
租税公課		597,777		597,777	支出(B-A)	8,989,691	支出(B-A)	12,253,671		
その他諸費				0	※臨時的 歳出	維持修繕費		維持修繕費	33,000	
						備品購入費		備品購入費		
計		6,800,233	0	6,800,233		計(C)	0	計(C)	33,000	
損益		112,767	0	112,767	支出(B+C-A)	8,989,691	支出(B+C-A)	12,286,671		

職員配置	常勤職員	3人	市の正職員	1人
	非常勤職員	2人	市の臨時・非常勤職員	人

利用料金実績 (単位:円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額	0
------------------	---------	-------	------	---

指定管理者 人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出	86.2%	R3年度 指定管理者損益	112,767円	評価
---------------	------------------------	-------	-----------------	----------	----

利用者一人 当たりの 指定管理料	指定管理料 /利用者数	25,047.1円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3
------------------------	----------------	-----------	------------------	----	---

行革効果	[指定管理による行革効果]	[行革効果額]	3,263,980円			評価
	令和2年度より指定管理施設となり2年目である。 非常勤職員の雇用月数の減で人件費などの支出額が 抑えられ、効果額の増につながった。一方で来場者 やアプリ、タブレットの活用等を増やし、さらに施 設の知名度向上を図るための方策も必要である。	[行革効果額の積算根拠]				4
			R3	R2	比較	
		直管支出額	12,253,671	12,253,671	0	
市支出額		8,989,691	9,108,863	△119,172		
効果額	3,263,980	3,144,808	119,172			

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	・管理施設等の使用許可に関する業務 ・管理施設等の維持管理に関する業務 ・来園者への案内説明	○		3
自主事業	・歴史公園ウォッチング&木の葉のリースをつくろう ・弓矢体験	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	適切な維持管理が図られていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	Wi-Fi接続状況の確認が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	適切に清掃が行われていた。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	※来園者の事故については、市の損害保険で適用。自主事業による事故の場合は、財団が加入するレクリエーション保険を適用。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	専門業者等に委託し、適切に維持管理されていることを確認した。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	必要な事務処理が行われ、適正に公平性が図られていた。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	パンフレット、ホームページ、所報の定期発行等による広報活動の実施を確認した。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	利用者の要望を十分に汲み取り、円滑な運営がなされていることを確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	可能な限り改善していることを確認した。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	11月に2回行うことができたが、企画していたイベントの中止もあり、長期的な休館の影響があった。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報の保護に関する規程に基づき、適切に実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施		消防設備を設置していない（設計時及び設置時に指導がなかった）	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	事業報告書により実施を確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	地震・火災等緊急時対応マニュアルに記載されており、関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	地震・火災等緊急時対応マニュアルを確認した（埋蔵文化財調査センターと同一）。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	事業報告書により訓練の実施を確認した（埋蔵文化財調査センターと同時実施）。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価
		調査内容	埋蔵文化財調査センターと同様 ・事業内容の感想調査 ・展示内容、職員の対応についての満足度調査 (年間を通じてアンケート用紙を設置し、任意で記入してもらった)	
		調査結果	利用者からの感想を的確に捉え、サービスの向上につなげている。	
	要望・苦情等	良好とする評価	適切な芝生管理と除草作業により快適な環境が維持されている。	
		苦情・改善要望等	要望事例なし	
				4

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	2	<h1>3</h1>
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
2 経費等の状況 (行革効果)	4	
3 事業の実施状況	3	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	4	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者として、善良且つ適切な施設管理を行うとともに、親切丁寧な対応が来園者から好評を頂いている。</li> <li>・胆沢城跡を起点とした、地域の中心施設として住民の期待に応えるよう事業に取り組んでいる。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策の影響から、前年度より来園者数の減少傾向が続いており、施設の利用促進を積極的に働きかけるとともに、魅力ある自主事業の実施に向けて次年度への改善が求められる。</li> </ul>	

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	前年度記載なし		引き続き、適正な芝生・植栽管理を実施する。

令和3年度指定管理者評価調書

施設所管課	教育委員会事務局歴史遺産課	評価者職氏名	課長 鈴木 常義	評価日	令和4年6月15日
-------	---------------	--------	----------	-----	-----------

施設名称	衣川歴史ふれあい館	施設所在地	衣川地域
指定管理者名	一般社団法人奥州市観光物産協会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	令和3年4月1日から令和4年3月31日（1年間）	新規・継続の別	新規
施設設置目的	郷土の歴史、民俗等に関する資料を保護活用し、郷土意識の高揚及び文化振興を図る。	指定管理料の有無	有
施設概要	展示室・資料室・研修室・収蔵庫等	指定管理料の区分	指定管理料+利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H30利用実績(人)	R1利用実績(人)	R2利用実績(人)	R3利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	衣川歴史ふれあい館施設利用者数	3,462	3,398	1,011	849	84.0	
(計)	3,462	3,398	1,011	849	84.0		
[利用者の増減理由] コロナウイルス感染症による観光客減少及び休館の影響を受け来館者数が激減したため。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	R3年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	R3年度決算額		市直営決算(H17年度)			
収入	指定管理料	3,900,000		3,900,000	歳入	使用料		使用料	172,050	
	利用料金	66,650		66,650		賃借料		賃借料		
	自主事業		45,000	45,000		その他		その他		
	雑収入	10		10		計(A)	0	計(A)	172,050	
	計	3,966,660	45,000	4,011,660						
	支出	人件費	2,400,000		2,400,000	歳出 ※経常的	指定管理料	3,900,000	人件費	2,370,672
		需用費	746,841		746,841		委託料		委託料	475,443
		役務費	111,076		111,076		需用費		需用費	774,375
		委託料	230,780		230,780		その他	200,000	その他	441,466
		使用料・賃借料	11,220		11,220		計(B)	4,100,000	計(B)	4,061,956
租税公課		361,423		361,423	支出(B-A)	4,100,000	支出(B-A)	3,889,906		
その他諸費			49,000	49,000	歳出 ※臨時的	維持修繕費	0	維持修繕費	84,000	
						備品購入費	0	備品購入費	48,300	
計		3,861,340	49,000	3,910,340		計(C)	0	計(C)	132,300	
損益		105,320	△ 4,000	101,320	支出(B+C-A)	4,100,000	支出(B+C-A)	4,022,206		
職員配置	常勤職員	2 人			市の正職員		(兼) 1 人			
	非常勤職員	1 人			市の臨時・非常勤職員		非常勤 3 人			
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	66,650	0	66,650							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出 62.2 %			R3年度指定管理者損益	101,320 円			評価		
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数 4,593.6 円			事業目的に適合しない支出等の有無		なし		2		
行革効果	[指定管理による行革効果]				[行革効果額] △ 210,094 円				評価	
	・直営当時(H21年度)は正職員(兼務)1名と非常勤職員3名を配置していたが、本制度の導入により兼務職員をなくすことができた。 ・看板を撤去したことにより土地借上料を減額できた。				[行革効果額の積算根拠]				2	
						R3	R2	比較		
					直営支出額	3,889,906	3,889,906	0		
					市支出額	4,100,000	4,105,000	△ 5,000		
効果額					△ 210,094	△ 215,094	5,000			

### 3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	・衣川歴史ふれあい館の維持管理	○		3
自主事業	・衣川清凜会との連携により歴史講談を開設した。 ・ヨガ教室や漆塗りなどの体験講座を自主的に開設した。	○		

### 4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価	
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に市への報告が行われ、維持管理が図られていた。	○	3	
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守点検が行われていた。	○		
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	職員により適切に行われていることを確認した。	○		
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めていることを確認した。	○		
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	自主事業は出前講談、ヨガ教室、漆体験講座であるが賠償責任保険をかけていない旨の報告を受けた。	これらに適應する賠償保険が見当たらないとのこと。		△
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適正であったと認められる。			○
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適正であったと認められる。	○	3	
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	市観光物産協会の情報誌、新聞等を活用して周知を図ったことを認めた。	○		
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	窓口でのトラブルはなく、正確で確実な対応を確認した。	○		
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情に対し迅速な対応が取られたことを認めた。	○		
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	積極的に自主事業を実施していた。	○		
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○		
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき適切に実施していることを確認した。	○	3	
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○		
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により実施を確認した。	○		
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○		
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	対応マニュアルを確認した。	○		
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	避難訓練と講習会の実施を確認した。	○		

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	3
		調査内容	来館者の接客時に聞き取り、日報に記載。 ・どこから来訪したのか。 ・来訪の目的、安倍氏の歴史に興味があるか。 ・何で当館を知ったのか。	
	調査結果	・大河ドラマ「炎立つ」を観て歴史探訪に来ました。 ・中尊寺の参拝後に成り立ちを知りたくて来ました。 ・前九年、後三年は名前だけ聞いたことがあるけど、詳細は分からなかった。知識を深めるために来ました。 ・講談を聞きに来ました。 ・自分の家が安倍氏と関係のある家柄だったのでルーツを知りたくて来ました。		
	要望・苦情等	良好とする評価 ・希望される来館者には解説案内を実施している。 ・学校の歴史授業では詳細を教わっていないお客様が多いため、安倍氏・清原氏・藤原氏の関係や中尊寺建立のきっかけを説明。 ・講談が面白かったです。 ・「分かりやすく面白かった」「来てよかった」との好評をいただいた。 苦情・改善要望等 ・冬季期間来館に館内が寒い→ファンヒーター増設で対応 ・入館記念品及びパンフレットはないのか→周辺地域の史跡探訪マップを配布して対応 ・歴史講談が聴きたい→5月から11月の間で定期上演を開催		

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	総合評価
	1 施設の利用状況	2	<h1>3</h1>
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	2		
2 経費等の状況 (行革効果)	2		
3 事業の実施状況	3		
4 業務の実施状況	3		
①施設の維持管理	3		
②サービスの向上	3		
③危機管理対策	3		
5 利用者評価	3		
評価理由	・本制度の導入によって、人件費や物件費が抑制され、一定の行革効果があった。 ・施設の特性を活かした自主事業（歴史講談等）を積極的に行い、市の歴史等に係る知識習得に有効であった。 ・概ね指定管理者として、善良な施設管理を行い、観覧者に対しても親切で丁寧な対応を行った。		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	Afterコロナ、Withコロナに沿った対策を実施したイベントを企画して、収益向上を目指しながら損益のバランスがとれる施設運営をめざす。	令和3年度は新型コロナウイルスの影響で休館や来館者の減少、イベントの中止が相次いだ。にもかかわらずはるが昨年より収益の向上がみられた。	Afterコロナを見越し、コロナ対策を実施したイベントを企画し、より収益向上を目指した施設運営をめざす。